

ロングインターンシップ

科目ナンバー 2H106
専門 選択 2単位

橋本 敬三

1. 授業の概要(ねらい)

ロングインターンシップ[®]では、国内外の民間企業・公的機関等での就業体験を通じて、専門の学びを深め、自らのキャリアについて考えます。実習期間は原則、実働時間通算80時間以上のものを対象とします。希望者は、所属する学科の教員と相談の上、インターンシップ先との契約および保険への加入を行います。インターンシップ期間中は、各学科の教員から指導を受けて実施します。

この授業はDP3,DP4そしてDP5に関する知識、技法、態度を修得します。

2. 授業の到達目標

現場実習等の形で[®]一定期間企業に入り、実際の活動の一部を体験します。長期の就業体験により、各種業務の実際ならび[®]に関連する専門知識や技術を身につけることを目標とします。また、社会人として求められる姿勢やマナーを身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

実習の他に、実習報告書、実習日誌、事後レポ[®]ートを提出します。成績評価は、それらの書類および実習成果に関する最終報告書、企業からの評価書に基づき判定を行います。最後の発表で全体に対するフィードバックを行います。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

各学科の教員および実習先からの指導に従うこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・実習先のマッチングについては、必ず各学科の教員と相談の上決定すること。個人で実習先を決定する場合においても、必ず教員へ相談すること。相談をせずに実習を行った場合の単位取得は認められません。
- ・実習先との契約書・誓約書および企業からの受け入れ承諾書を提出のこと。これらの書類は、受け入れ先の様式が特別必要ない場合は、学校所定の様式を使用のこと。
- ・学研災(学生教育研究災害傷害保険)付帯賠償責任保険に加入を事前に確認すること。
- ・国外のインターンシップ[®]を希望する場合には、必ず保険に加入すること。
- ・インターンシップ[®]中は、指導担当者及び[®]業務にかかわる従業員の指示に従うこと。
- ・実習期間は原則、実働時間通算80時間以上のものを対象とする。

7. 授業内容

【実施時期】4月～翌年3月までの1年以内

【実施期間】実働時間通算80時間以上

*本授業では講義を行いません。